

「学校の安全点検等の在り方検討ワーキンググループ」検討事項 及びスケジュールについて

「学校の安全点検等の在り方検討ワーキンググループ」における検討事項

「第3次学校安全の推進に関する計画」より

- 児童生徒等の安全の確保を図る上で支障となる不具合を判断する具体的な基準など、安全点検に関する標準が明確ではない点も指摘されているところであり、今後、学校における施設・設備の定期点検に関する標準的な手法について検討が行われることが必要である。
- 近年、学校施設の老朽化が進む中、老朽化に起因する安全面の不具合が増加し、重大な事故が断続的に発生しているが、施設・設備の点検については、校長・教職員による日常的な点検では専門的な視点からの判断は困難である。また、災害時においても、発災直後の施設の安全点検等が迅速かつ適切に行われることが必要である。

学校安全の推進に関する有識者会議における主な意見

- 教員が安全点検を行う際の視点や対象について、点検の主体・内容の分類、点検体制の仕組みを構築
- 安全点検の際に子供の視点を入れる（例えばGIGA端末を活用した校内のヒヤリハット事案共有など）
- 安全点検に警察や消防などの地域の関係機関の視点も盛り込む

【消費者安全調査委員会報告書を受けて】

- ☑ マクロデータの活用など、子供の様子と環境との関係を観察してリスクを抽出していく
- ☑ 法律に基づく行政が行う定期的な外部人材による専門的な点検と、教員が行う教育活動上での使用上の安全点検を整理
- ☑ 危険な施設や設備が学校に配置されないようにすることも視野に入れる
- ☑ 学校の安全点検に外部の視点を入れていく

「教職員のための安全点検要領(仮称)」の作成

- 1 消費者安全法第33条に基づく意見等を受けた安全点検
- 2 学校と教育委員会が行う安全点検体制
- 3 教職員が行う安全点検の視点や対象
- 4 外部人材（専門家）等の活用
- 5 子供の視点を取り入れた安全点検 等

☆実態を踏まえた検討に当たって

- ・ 消費者安全法第33条に基づく意見等を受けた安全点検の実施と結果報告（各学校を対象）
- ・ 外部人材等を活用した安全点検の好事例の収集
- ・ 安全点検に関するヒアリング

「学校における安全点検等の在り方検討ワーキンググループ」検討スケジュールについて

| | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---------------------------|--|---|---|----|-----|--|--|------------|------------|----|
| 有識者会議（親会議） | 第1回 6/5 | | 第2回 8/24 | | | | 第3回 | | 第4回 | |
| | | 報告 | | | | 報告 | | 報告 | | |
| 学校の安全点検等在り方検討WG | 第1回 6/23 | 第2回 7/18 | 第3回 9/21 | | | 第4回 | | 第5回 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 協議の方向性確認 消費者安全調査委員会の意見具申を踏まえた緊急点検項目等調査 ■ヒアリング <ul style="list-style-type: none"> 文教施設部 非構造部材耐震化の安全点検 | <ul style="list-style-type: none"> 教職員が担う安全点検検討 外部人材との連携 ■ヒアリング <ul style="list-style-type: none"> 外部人材の活用（かかりつけ技術士） 教育委員会における学校の安全点検への対応 | <ul style="list-style-type: none"> 緊急点検及び安全点検取組状況調査結果分析 安全点検の要領骨子案検討 ■ヒアリング <ul style="list-style-type: none"> 大教大附中学生参加型の校内安全点検 | | | <ul style="list-style-type: none"> 安全点検要領素案検討 | <ul style="list-style-type: none"> 安全点検要領素案検討 周知方法検討 | | | |
| 緊急的な安全点検及び安全点検に関する取組状況等調査 | | ※7/26（水） 宮城県教委主催安全点検講習会視察 調査開始（10日から） 教育委員会（31日まで回答） | 学校（31日まで回答） | | | | | | | |
| | | | 集計作業 | | | | | | | |